

結

MUSUBI

井上陽介
木村悠生
樋口雄大
西藪 健
林田尚毅

いあい

夏も本番となり、暑い日が続きます。文化祭準備も忙しくなり、みんな一生懸命に活動していますが、水分補給を忘れず、熱中症にならないよう気をつけましょう。また、コロナウイルスの感染者数も増えてきていますので、しっかりと対策を怠らないようにしましょう。

生徒の皆さんへ

先日、大和小泉駅で奈良学園の中学生数人がいきなり大声で叫び、隣にいた人に迷惑をかけるという出来事がありました。突然大声で叫んだりすると、駅員さんや周りの利用者に緊急事態であると勘違いされるおそれがあります。

また、公共の場での言葉遣いの悪さが中学生だけでなく高校生にも目立ってきて

ているように思います。登下校の際に、仲の良い友達と一緒にいて気分が高揚してしまうのはわかりますが、公共の場所は様々な人が利用するので、聞いていて心が痛くなるような言葉遣いや、個人情報などは口にしないようにすべきです。一人一人が奈良学園生としての自覚を持ち、マナーを守って行動するように心がけましょう。

バレーボール部インタビュー

奈良県私学バレーボール大会が9月に行われます。この大会で勝ち進んだチームだけが近畿私学大会に出場できます。現在、私たちバレー部は、この大会に出られるよう日々精進しているところです。



ゲーム形式の練習をする前に、パス、サーブ、サーブカット、スパイクの練習をしますが、特にサーブ練習に多くの時間を割いています。サーブは、相手に思い通りのプレイをさせないよう、相手の受けにくい場所に強く打ち込みます。

しかし、相手もこれと同じ事を考えています。相手のサーブも同じように味方の受けにくいところに強く打ち込んできます。そういう相手の意図を想定して、私たちはサーブカットの練習

もするのですが、その練習にはやはり強いサーブが不可欠です。だから強いサーブを打てるよう、特に力を入れて練習しているのです。

このように私たちは試行錯誤を繰り返してさらなる高みを目指して日々練習に励んでいます。時に練習はつらく、心が折れそうになりますが、試合に勝って自分たちの成長が感じられた時はとてもうれしく思います。その喜びを共有し、勝利への道を一緒に切り開いていこうと思う方をお待ちしています。

西藪・林田の科学コーナー 3



夏の風物詩、ひまわり。ひまわりは花が咲く前、常に太陽の方角を向いています。

ではなぜ常に太陽の方角を向くことができるのでしょうか。

その秘密は茎にあります。ひまわりの茎にある成長ホルモンは太陽の光に影響を受けます。成長ホルモンは、太陽が当たっている茎の部分から太陽が当たらない陰になっている茎の部分に移動します。これは、光が当たらない部分に成長ホルモンを多く集めることで、茎が成長させるためです。その結果、太陽の当たっていない側の茎が当たって

いる側の茎よりも伸びて茎の先が曲がります。すると花は太陽の方角に傾くというわけです。これにより、太陽の方向が変化するにつれて、ひまわりの向きも変化し、常に太陽の方角を向いているように見えます。

実は他にも、マリーゴールドやダリアもこのような性質を持っています。ひまわりだけ太陽の方角を追い続けるという動きがはつきりしているのです。ひまわりだけにあるメカニズムだと誤解されていることもあるようです。

身近なものでもじっくりと観察してみれば面白い発見があるかもしれません。短い夏休みで忙しくなるかもしれませんが、たまには身近なものを観察するのもいいかもしれません。

生徒会からのお知らせ

図書室に新しく空気清浄機を設置しました。普段は空気清浄モードにしていますが、閉館後は、ウイルス除去のためオゾン発生モードで運転しています。オゾンは高濃度になると人体に悪影響を及ぼしますので、閉館後は立ち入り禁止とします。図書室での忘れ物に注意してください。

